

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【公開番号】特開2008-174053(P2008-174053A)
 【公開日】平成20年7月31日 (2008.7.31)
 【年通号数】公開・登録公報2008-030
 【出願番号】特願2007-8254(P2007-8254)
 【国際特許分類】

B 6 2 B 5/00 (2006.01)

B 6 2 B 3/02 (2006.01)

【F I】

B 6 2 B 5/00 B

B 6 2 B 3/02 B

B 6 2 B 3/02 H

B 6 2 B 5/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転軸を中心に回転する 2 つのアームがあって、それぞれのアームの回転軸と反対側の端部に接続軸があり、これらの接続軸を 1 枚のリンクでつなぐ 3 枚のリンクからなるリンク構造において、それぞれのアームの長さがアームの回転軸の間の距離の半分であり、リンク構造の始動において、片方のアームがアームの回転軸を結ぶ直線状にあり、片方のアームがアームの回転軸を結ぶ直線状に直交する方向を向くとき、片方のアームが 90 度回転すると他方のアームも向かい合う方向に 90 度回転することを利用して、観音開きの 2 枚の床板が、片方を回転させることで、両方の床板が同時に 90 度回転して水平状態の 2 枚の床板が同時に直立する機構

【請求項 2】

請求項 5 の法則にしたがって観音開きの 2 枚の底板が、片方を回転させることで、両方の底板が同時に 90 度回転して水平状態の 2 枚の底板が同時に直立するようにして、観音開きの 2 枚の底板と連動して端部に固定輪を取り付けた観音開きの 2 枚のアームを上下させるキャリアート

【請求項 3】

棚板或いは底板の短辺方向の両側の側面と各層棚板或いは底板の両側の支柱との接続軸において、長辺方向に平行な回転軸を中心軸とする円筒形の突起物が長穴内を回転しながら移動して、棚板或いは底板が回転軸のまわりを回転できるようにして同時に棚板或いは底板回転軸の位置が移動することによって、起立或いは倒伏を可能にし、棚板或いは底板の自重による回転の回転方向を阻止する当たりで、棚板或いは底板の盤面が水平面内にある状態と鉛直面内にある状態で静止状態を保つことが出来ることを特徴とする棚板或いは底板

【請求項 4】

中心軸に平行な 2 つの平面で挟まれる円柱の一部であり、短辺が円弧で長辺が直線である断面を有する、側面が円柱面である円柱から切り出された直方体の回転軸が、棚板或いは

底板の短辺方向の両側側面に取り付き、
棚板或いは底板の両側の支柱に取り付けられる円筒と溝状の間隙とが連続する軸受けの円筒内を貫通して、
軸受けの円筒の中心軸と貫通する上記回転軸の中心軸を一致させながら回転し、棚板或いは底板の盤面が水平面内にある状態から鉛直面内にある状態に回転したあと、
軸受け円筒と連続する溝状の間隙に嵌まりこみ、上記回転軸が上下動をして、棚板或いは底板が鉛直状態で静止し、
棚板或いは底板が水平状態で上記回転軸が円筒内にあるとき、回転軸の左右上下の移動が拘束され、棚板或いは底板が鉛直状態で板状の回転軸が溝状の間隙 G に嵌まりこむとき、
回転軸の回転が拘束され、
棚板或いは底板の盤面が水平面内にある状態と鉛直面内にある状態で静止状態を保つことが出来ることを特徴とする棚板或いは底板

【請求項 5】

請求項 1 及び請求項 2 の棚板或いは底板を有する自在輪が 4 隅に着く 4 輪車或いは 4 隅の自在輪と中央に 2 つ固定輪で台車を支持する 6 輪車のネスティング可能な棚付きキャリアカート

【請求項 6】

底板長辺方向中央の位置で、4隅の自在輪が取り付く水平材と支柱と柱つなぎからなる台車フレームに固定された回転可能な接続軸に、底板長辺方向と直角方向に連結され、底板長辺方向を走行方向とする固定輪が上記接続軸の反対側の端部あるいは両端に取り付くプレートであり、
倒伏して上記台車フレームに固定された底板の下面に付した窪みに嵌まり込んで、水平面内のあらゆる方向の動きが拘束され、底板に上から押さえつけられることで、上下の動きが止められ、底板に密着して固定されるようになるプレートで、
プレート両端の固定輪が接地状態にあるとき上記台車フレームを支持するようにし、
長辺方向の回転軸を中心にして回転する底板の起立運動に連動して、プレート両端の固定輪が上昇し、地面からはなれて接地しない状態でネスティング可能な高さで静止することによって、上記台車フレームは4隅の自在輪で支持されようになり、全方向に移動が可能となる機能を有するプレート

【請求項 7】

片端に固定輪が取り付け中間に上記台車フレームに固定された回転軸があって、他端が負荷によって上下に動き、固定輪側の端部が円運動して固定輪が接地する状態と接地しない状態で静止させるプレートで、2枚のプレートを互いに反対方向にして回転軸を共通にするか或いは接近させて、他端に負荷によって伸び縮みするスプリングを仕込み、底板を起立させてプレートから離れた無負荷時に固定輪をネスティング可能な高さに静止させるプレート

【請求項 8】

底板倒伏時に底板と密着し、底板起立時に底板から離脱し、ネスティング可能な高さで静止するようにした請求項 4 と請求項 5 のプレートで構成される底板中央に固定輪を持つ 6 輪車のキャリアカート